

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

平成26年度 第2回総会議事録

平成26年12月17日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
平成26年度第2回総会議事録

場 所：杉妻会館3階「石楠花」
日 時：平成26年12月17日 午後1時30分～

議事の経過及び内容

午後1時30分、遊佐正広 事務局長（JA福島中央会 農業対策部長）の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

1 あいさつ

川上雅則会長（JA福島中央会 常務理事）

2 議長選出

事務局長から、慣例により会長が議長を務めることを提案、議場に諮り、議場の承認を得て会長が議長の就任あいさつをし、議事に入る。

3 議事録署名人及び書記の選任

議長から議事録署名人及び書記の選任について議場に諮り、議長一任の意見があり全員異議なく、議事録署名人に全国農業協同組合連合会福島県本部米穀部長の太田 達也様及び福島第一食糧卸協同組合専務理事の山崎 重光様を、書記には事務局を選任した。

4 定足数確認

議長から本総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数10団体（9名）のところ、本人出席者8名、委任状提出1名となり、総会の定足数に達したことを報告。

5 報告事項

報告事項1 「平成26年度上期内部監査の結果について」

議長より「報告事項1」について報告を求められ、事務局長より内部監査の結果を報告した。

議長より議場に意見又は質問を求めたが質疑がなく、続く報告事項に

移った。

報告事項 2 「平成27年産米の市町村別生産数量目標の算定方針について」

議長より「報告事項 2」について報告を求められ、事務局長より報告した。

議長より議場に意見又は質問を求めたが質疑がなく、議事に移った。

6 議事

議案第 1 号 「福島県水田農業産地づくり対策等推進会議規約の一部改正について（案）」

議長より、「議案第 1 号」について、事務局からの説明を求められた。

事務局長より、「直接支払推進事業実施要綱」において、原則として会員に農地中間管理機構を含むことと規定されたため、当会議の構成員として新たに（公財）福島県農業振興公社を加えることにともない、規約の一部を改正する旨の説明をした。

議長より議場に意見又は質問を求めたところ「異議なし」との発声があり、全員賛成により「議案第 1 号」は可決承認された。

議案第 2 号 「福島県の水田農業の振興方策について（案）」

議長より、「議案第 2 号」について、事務局からの説明を求められた。

県事務局責任者である天野水田畑作課長より、本資料の福島県の水田農業の振興方策（案）にそって説明した。国は農政改革にある平成 30 年度を目途とした米の生産調整方法の変更などの改革を進めている。そのため、本県の水田農業の持続的な発展を図るために、水田農業の振興方策を明らかにするとともに、農業者を誘導する指針として策定すると説明した。

福島県農林水産部長より、米価下落の中、園芸作物を入れた複合経営を推進していきたいとの意見があった。

福島県市長会小松事務局長より酒米の誘導等について何かあるのかとの意見あり。県水田畑作課長より、酒造好適米は徐々に酒蔵との契約が進んできている。これからも是非進めていきたい。と回答した。

議長より議場に意見又は質問を求めたところ「異議なし」との発声があり、

あり、全員賛成により「議案第2号」は可決承認された。

議案第3号「27年産米の需給調整の取組推進について（案）」

議長より、「議案第2号」について、事務局からの説明を求められた。
事務局長より27年産生産数量目標確保に向けた対応の考え方として、良食味米産地としての強みを生かした主食用米の生産振興を基本として、水田フル活用による飼料用米等の非主食用米の生産拡大に取り組むとし、地域間調整の考え方については、生産数量目標を下回って生産した分に対する5,000円/10aの産地交付金の追加払いが設定される見込みであることから、県間調整は実施しないと説明した。

議長より議場に意見又は質問を求めたところ「異議なし」との発声があり、全員賛成により「議案第3号」は可決承認された。

議長よりすべての議案の審議を滞りなく終了したことへの礼を述べ、議長職を解かせていただくことを議場に告げ退席した。

8 閉会

午後14時30分、事務局長が本総会の閉会を告げた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長及び議事録署名人がここに署名し、押印する。

平成26年12月17日

議長
福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 会長

議事録署名人
全国農業協同組合連合会福島県本部 米穀部長

議事録署名人
福島第一食糧卸協同組合 専務理事